

ふれあい

主な内容

- 1 P. 日頃の成果で魅了!
第35回芸能音楽祭
- 2 P. ありんこ旅日記・私のふるさと
- 3 P. 部会だより・地域のわだい
- 4 P. 私の撮って置き!!
- 4 P. 1中コミセンによるこそ

●発行所/ひたちなか市長堀町3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内) ☎029-276-2671 ●発行責任者/山田 俊 ●編集/広報委員会

日頃の成果で魅了! 第35回芸能音楽祭

12月27日、市文化会館小ホールで第35回芸能音楽祭が開催されました。地域から参加した6自治会と、1中コミセンを利用して活動する14団体の計20組の皆さんが熱演。会場では、熱い応援と惜しみない拍手が送られました。



和太鼓 <鉦鼓会>



フォークダンス <フォークダンスロンド>



太極拳 <朧和クラブ>



和太鼓、ひょっとこ <金上お囃子会>



スコップ演奏 <西中根自治会>



ハンドベル演奏 <ハンドベルを楽しもう>



特別演奏 <中根自治会>



鉦太鼓 <大平自治会>



合唱 <ひばりコーラス>



踊り <大成町自治会>



ウクレレ演奏と歌 <スイーツウクレレ>

ありんこ旅日記

雪の峠越え

ありんこ(ペンネーム)

初冬、車の旅を続け鹿児島に着き、ここで折り返すことに。さて、どのルートで帰るか？地図を調べ、九州中央の山々を縦走することにした。人吉から五木・五家荘(ごかのしょう)・高千穂を経由し阿蘇へと抜ける道だ(地図参照)。標高はさほど高くないが、山間に屈曲した細い道が続く。山々の素晴らしい景観を想像し、心が躍った。



人吉から山道に入ると、山の急斜面と深い谷が続いた。過去の崩落を物語る茶色い山肌と谷の岩々を目前に緊張が走った。対向車とのすれ違いで、時にバックしながら進む。山を登るにつれ、昨晩降った雪があちこちに。さらに行くと道は一気に白くなった。チェーンが要る！持っては来たが、急な山道だ。装着できる場所が無い。後悔したが後の祭り。緊張しながら歩く程の速度で雪上を進む。小1時間でやっと峠に迎り着き、一息。しかし、ここから恐怖が始まった。



五家荘の山越えの道

下りで速度が増し、ブレーキを踏むと滑り、ハンドル操作もままならない。思わず体が力が入り熱くなる。冬なのに窓は全開。右は谷底、左は崖。細心のブレーキ操作。悪戦苦闘が続く。カーブを曲がると前方に急坂が。日陰で路面が凍結している。『越えられるか？』不安がよぎった。そう思った瞬間、車がスリップし始めた。ハンドルもブレーキも効かない。ワーッと叫ぶが、なす術も無い。『(ガードレールに)ぶつかるとこれで一巻の終わりだ！』と覚悟を決め、身構えた。

しかし！奇跡が起こった。車は嘘のようにぴたっと止まった。偶然、凍結路に少しだけ地面の露出部があり、そこでスリップが止まったのだ。何という幸運。『助かった！』体から一気に力が抜け、しばし放心状態に。我に返って走ると間もなく、道幅が広がり対向車が現れた。『この車とあそこで出会っていたら』と思うと背筋がぞっとした。麓の村に近づくと雪は消え、そこから先は計画したルートで無事帰ることができた。

今思うと若気の至りでずいぶん無茶をしたが、懐かしい思い出となった。雪道にスリップは付きものだ。この苦い経験のあと心を改め、降雪時は早めの対応と慎重な運転を心掛けている。

私のふるさと

三池炭鉱と大蛇山まつり

世野自治会

浦田 誠士(75)

思えば遠くへ来たものだ!! 私のふるさととは、飛行機を利用して約6時間後に到着する福岡県最南端の大牟田市です。かつては三池炭鉱から、良質で豊富な石炭が産出されました。コークスや肥料・染料などの化学製品を製造する国内初の石炭化学コンビナートとして大いに栄え、各地から多くの労働者が集まりました。しかしエネルギー



ギ一革命が進む中で、日本最大の労働争議として知られる三池争議や、458人の死者を出した戦後最大の炭塵爆発事故なども起こりました。その後、大規模な機械化などにより日本一の出炭量を誇った三池炭鉱も、石炭産業の衰退とともに1997年に閉山しました。人が多く真つすく歩くのが難しかった繁華街には今はほとんど人影がなく、人口も20万人から半減し、昔の賑わいはなくなりました。



世界遺産 三池炭鉱宮原坑

三池炭鉱・三池港は、2015年にユネスコの世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の遺跡群の構成資産として登録されました。三池炭鉱関連遺産は「坑口」「鉄道」「港湾」といった一連の炭

鉱産業景観が良好な状態で残っており、大牟田市は世界遺産のある街として現在に至っています。このような街が昔の賑わいを取り戻すのは、毎年7月最終の土・日に開催される「大蛇山まつり」の時で、35万人以上の人出で賑わいます。大蛇山とは全長約10m、高さ約6m、重さ3tにもなる山車(だし)のことで、木製の山車に和紙・竹・わら等を組み合わせて作った頭・胴体・しっぽが大蛇のように飾り付けられています。300年程前、三池地区の祇園まつりに大蛇が使われたのが始まりで、

明治26年以降大牟田各区に広がり、現在の「祇園六山」となりました。その後、昭和50年代頃からは町の活性化・青少年健全育成を目的とした「地域山」が市内各地で作られ、市全体に広がって行きました。笛や太鼓の音、代々伝わるお囃子が響きわたる中、カッと目を見開き、裂けるように開いた口から火を吹きながら、数百人もの引き手により練り歩く「祇園六山」の巡行・競演や「地域山」のパレードは一見の価値があります。その他、御神体である大蛇の口に赤ん坊を入れて無病息災を願う「かませ」の神事もあります。



第三区祇園八剣神社 大蛇山

「ふるさととは遠きなりにありて、思ふもの」と言いますが、今年こそは幼い時に味わった「大蛇山まつり」の熱気を感じたいと思っています。

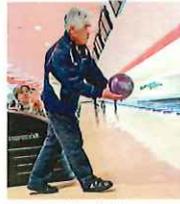
部会だより 今年も元気に活動しています!

体育部会

第1回ボウリング大会を2月15日、勝田パークボウルで開催した。自治会から16チーム64名参加のもと団体戦・個人戦が行われ、ストライクやスベアが出るたびに大きな歓声が上がリ、和気あいあいと、楽しい時間を過ごした。成績は次のとおり

- ◎団体の部
- 優勝 大成町A
- 2位 中根A
- 3位 三反田B

- ◎個人の部
- 優勝 黒羽 京子(富士山自治会)
- 2位 鈴木 早苗(三反田自治会)
- 3位 マサポン(金上自治会)



始球式



優勝 大成町A

福祉部会

2月7日、1中コミセンで地域講習会を開催し、30名が参加した。地域包括支援センターの職員を講師に迎え「認知症サポーター養成講座」を実施。認知症の基礎知識や主な症状、接し方のポイントなどを具体例を交えて学んだ。偏見や思い込みを無くし、正しく理解することの大切さ、さりげない見守りや温かな声かけが、地域で暮らす安心につながることを共有した。受講者からは「身近な問題として考えるきっかけになった」との声もあり、支え合いの輪を広げる有意義な機会となった。



文化部会

2月14日に、毎年恒例の「心のいやしコンサート」を開催した。今回は、1中コミセンで活動している複数のコーラスグループが指導を仰いでいる山田陽子さんのピアノ演奏と、山田さんと共に活動しているソプラノ歌手の浦田美紀子さんのリリックソプラノの独唱。来場者は、コミセンを利用している活動団体の方など約60人。心にしみる素敵なピアノ演奏や独唱を聴き、出演者と一緒合唱、合間のお話とコーヒータ임을楽しみ、心の癒しと安らぎを醸し出した余寒の聖ハレンタインデーのコンサートとなった。



青少年部会

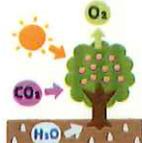
1月10日、三反田小にて「お正月遊び」を87名の参加で実施。福笑い・コマ回し・メンコ・羽根つき・凧揚げなどを体験した。凧揚げでは校庭を元気いっぱい走り回り、凧があがると喜びの歓声もあがっていた。三反田小育成会や勝田一中PTA役員など多くの方の協力を得て、寒さの中でも子どもたちの元気な笑顔を見ることができた。



環境部会

2月7日、1中コミセンで環境問題について勉強会を実施。参加者19名が映像を視聴した。テーマは「二酸化炭素による海の酸性化」で、概要は次のとおり。
 一 二酸化炭素が海に溶け込み酸性化すると、プランクトンや魚介類に悪影響を及ぼす。海洋資源の減少を招き、人類の未来を左右しかねない。

このため、藻や水中植物を使って二酸化炭素を吸収し、海底に閉じ込める試みが進んでいる。しかし、それには限度がある。冷暖房の温度を調整するなど、我々の低減努力が必要となる。
 日常生活で、いかに二酸化炭素を減らすかを考える良い機会となった。



地域のわだい

幕末の水戸藩に浸ってきました

大平自治会では、数年前からふれあいサロン：たまり場「おおだいら」を運営しています。開設当初は、本当のたまり場で自由な時間に来て、お茶を飲んだりお茶菓子を食べ、たわいのないお話をして過ごしていました。

ある時に「地域の歴史など学んでは」ということになり、始めたのが「ふるさと再発見講座」です。回数を重ね、今回の題目が水戸藩の藩校である

「弘道館」や「水戸城址」になり、直接現地に行って確認したいという声が多くあり、1月30日に35名で見学に行きました。

午前中にこの2か所を回り、県庁の食堂で昼食をとり、午後からは天狗党の乱で戦死した方々が埋葬されている桂岸寺・保和苑を訪れ、往時を偲んできました。

楽しい一日を過ごすことができました。

大平自治会





餌に群がる渡り鳥
北海道クッチャロ湖にて

私の掃っておき !!

西中根どんど焼き

ワイワイ ガヤガヤ!
<Aさん>

大きな白菜とボク
<Hさん>

前日までの強風が止み、
炎が真っ直ぐ空に <Kさん>

津田の田んぼで お食事中
<Nさん>

箱が好きなウチの りゅうちゃん

白鳥の群れ

1中コミセンによこそ

社交ダンスサークル「サファイア」

川又 博幸

当サークルは2004年に社交ダンスを通じて、宝石のように光輝く人生を歩んでほしいという願いから活動を始め、今年で22年目を迎えます。現在は、1中コミセンを会場に毎週金曜日の午前10時から11時半まで、安はるみ・監物光男 両先生のご指導のもと、男女4名のメンバーが楽しくレッスンに励んでいます。

レッスンは準備運動に始まり、その日に行うダンスの基本的なステップを確認した後、タンゴ・ワルツ・ルンバ・チャチャチャなどを、月ごとに2種類ずつ練習しています。頭と体がやや錆付いてきた私たちに、両先生の温かく時には厳しく、そして分かりやすいご指導が、良い潤滑油となっています。できなかったステップができるようになった時は、とても嬉しく、達成感や満足感を感じます。

社交ダンスは、全身運動による体力・体幹向上、姿勢改善、認知症予防、そしてストレス解消や社交性向上といった心身両面に高い健康効果があると言われています。現在、メンバーが少なく寂しい思いをしていますので、興味関心のある方は、ぜひ活動に参加し、一緒に社交ダンスを楽しみませんか。レッスンの見学歓迎！お気軽にどうぞ。



ダイヤモンド手編み教室

木村 かつ子

当教室は、池田好枝先生が1中コミュニティセンターのオープンに合わせて始められ、もう40年近く続いています。月2回、第2・4月曜日の午前中に90歳代の方も含めた12名の会員で活動しています。

それぞれが、セーターやカーディガンなどの衣服以外に、帽子やマフラー・手提げなどの小物を、自分や家族のために楽しく編んでいます。編み方はかぎ針と棒針編みがあり、模様の編み方やデザイン・毛糸の種類も少しずつ新しいものが出ていますので、家で編んでいてわからないところは活動日に先生に教えていただきます。頭と手をフル回転して根気よく続けているため、老化防止にも良さそうです。また、嫌なことがあっても無心になれるので、編み物は楽しいです。

難しい編み方に挑戦して出来上がった時、お友達に作った物を差し上げて喜ばれた時は、嬉しい瞬間!!

今、若い人や男の人の間にも編み物ブームがきているとか。初めての人も丁寧に教えていただけますから、ぜひダイヤモンド手編み教室に入って一緒に編み物をしませんか!



今号は芸能音楽祭を特集しました。例年と同じ様な写真にならないよう工夫しながら撮影し、紙面には動きのあるスナップをアップで掲載するように心がけました。熱気と躍動感伝わったでしょうか。皆さまのご意見・ご感想や「私の掃っておき!!」の写真・話題などをお寄せいただければ幸いです。

編集後記